

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6 P~14P)	変わらない (△ 5 P~ 5 P)	やや悪い (△ 6 P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期の DI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【 18P <良い> ↑ 】 (前期比 15P)

景況感の改善とともに売上額【18P】は 16P 改善しました。一方で、資金繰り【△ 8 P】は 5 P 悪化しています。雇用人員【△43P】は、依然として人手不足が続いていますが、次期に向けては、若干の改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・大手企業の業況回復により、半年ほど前から受注が増加傾向にある。
- ・円安の進行が心配であるが、内需に支えられ来期も安定した受注を見込んでいる。
- ・電機や自動車等のメーカーの動向に左右されているが、売上は少しずつ増加する傾向にある。
- ・売上額は、近年で一番大きかったが、従業員が不足しているため 4～5 名ほど雇用したい。
- ・固定の受注は確保できているが、前年を上回るものではない。新規取引先の開拓が課題である。

(2) 建設業 景況感 【 5P <変わらない> → 】 (前期比△21P)

景況感の悪化とともに売上額【9P】は、12P と大幅に悪化しました。雇用人員【△36P】は、3 P 改善しましたが、依然として人手不足が続いています。

次期に向けて、売上額、収益は、若干の改善が見込まれていますが、雇用人員、資金繰りは、厳しい状況が続きます。

☆事業者の主な声☆

- ・東京オリンピックの恩恵を受けているのは、大手ゼネコンだけであり、中小企業は依然として厳しい状況が続いている。
- ・中小の工務店は、依頼主に沿った設計で大手と違う特徴を出していきたいが、注文住宅は資金的に高いと思われているので、発注を取ることが難しい。
- ・地元のハウスメーカーの下請けのような仕事が多いので、若手を育成することが難しい。
- ・住宅リフォーム工事を中心に受注は確保されているが、新築工事は人手不足によりお断りするケースがある。
- ・バスの広告とインターネットの自社広告効果が追い風となり、受注は安定している。

(3) 卸・小売業 景況感 【△6P <やや悪い> 】 (前期比△8P)

今期は、売上額【△11P】と収益【△34P】がそれぞれ25P、32Pと大きく悪化しました。他の項目についても悪化している状態です。

次期は、収益に改善が見込まれていますが、資金繰りはさらに悪化の見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・品質よりも値段が優先となっていて、個人消費の低下が止まらない状況である。
- ・収穫時に悪天候が続いた影響で、仕入れ価格が高騰しているが、価格に上乗せできず収益は悪化している。
- ・地域に根付いたスーパーとして経営しているが、地域の高齢化・衰退により、売上・客数ともに減少している。
- ・修理やメンテナンスに注力し、売上げを確保した。今後、低価格商品をはじめ販売に注力し、売上増加を図りたい。
- ・販売員を増やし、個人客への販路拡大を図ると共に、経営のスリム化、経費節減を図っていく。

(4) 不動産業 景況感 【0P <変わらない> 】 (前期比△14P)

売上額【29P】、収益【22P】、雇用人員【△7P】は、若干の改善が見られます。一方で資金繰り【0P】は、6P悪化しました。

次期は、景況感の改善に反して、売上額、収益ともに悪化の見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・高齢者の入居希望者が多いが、親族からの連帯保証を得られないため、入居をお断りするケースが多い。
- ・転勤などで入居紹介が増加し、売上が期待できる時期であったが、営業地域内の物件に空き室が目立つ。
- ・創業時より代表者一人で経営しており、売上増加も厳しい状況となっている。
- ・大規模なプロジェクトに着手している傍ら、小規模な自社プロジェクトを数多く行うことで、増収・増益を図る。

(5) サービス業 景況感 【△9P <やや悪い> 】 (前期比△21P)

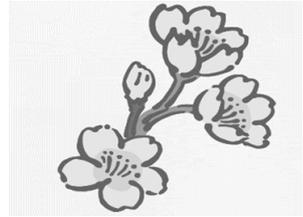
今期は、売上額【△3P】、収益【△12P】は、それぞれ、23P、20Pの大幅な悪化となりました。

次期は、売上額、収益、資金繰りで若干の改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・季節によって限定メニューを販売しているが、売上は伸び悩んでいる。
- ・代表者と妻の二人で経営しており、後継者がいないことが今後の課題である。
- ・外国人労働者を4月から1人雇用する。
- ・各種サービスにより新規顧客に注力しながら、顧客離れを防いでいる。
- ・景気が良くなったせいか、引き抜きにあい、人材が不足してしまった。

DI 値 調査結果



前・・・前期 平成29年10～12月の景況感（調査時点 平成29年12月1日）
 今・・・今期 平成30年1～3月の景況感（調査時点 平成30年3月1日）
 次・・・次期 平成30年4～6月の景況感（ ” ” ）

業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	178	37	38	47	15	41
今期	168	39	36	44	14	35
次期	168	39	36	44	14	35

(単位：ポイント)

項目	業種	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良い(A)	30	24	20	27	33	31	37	19	22	30	30	14	27	21	29	27	14	9
	変わらず	51	53	64	49	52	56	52	67	67	42	34	61	60	58	64	58	63	74
	悪い(B)	19	23	16	24	15	13	11	14	11	28	36	25	13	21	7	15	23	17
	DI値(A)－(B)	11	1	4	3	18	18	26	5	11	2	△6	△11	14	0	22	12	△9	△8
	今－前、次－今	△10	3		15	0		△21	6		△8	△5		△14	22		△21	1	
売上額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好転(A)	35	30	24	32	36	28	34	31	28	40	30	23	27	36	29	37	20	17
	変わらず	45	45	58	38	46	49	53	47	61	34	29	50	73	57	64	46	57	69
	悪化(B)	20	25	18	30	18	23	13	22	11	26	41	27	0	7	7	17	23	14
	DI値(A)－(B)	15	5	6	2	18	5	21	9	17	14	△11	△4	27	29	22	20	△3	3
	今－前、次－今	△10	1		16	△13		△12	8		△25	7		2	△7		△23	6	
収益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増加(A)	29	23	20	35	31	26	26	28	28	26	16	16	20	29	21	32	14	9
	変わらず	49	49	60	38	46	51	61	55	58	46	34	52	73	64	72	44	60	80
	減少(B)	22	28	20	27	23	23	13	17	14	28	50	32	7	7	7	24	26	11
	DI値(A)－(B)	7	△5	0	8	8	3	13	11	14	△2	△34	△16	13	22	14	8	△12	△2
	今－前、次－今	△12	5		0	△5		△2	3		△32	18		9	△8		△20	10	
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多い(A)	3	4	5	5	3	3	3	6	3	2	5	7	0	0	0	5	6	9
	適正	63	58	59	49	51	59	55	52	55	72	61	63	87	93	93	61	51	45
	少ない(B)	34	38	36	46	46	38	42	42	42	26	34	30	13	7	7	34	43	46
	DI値(A)－(B)	△31	△34	△31	△41	△43	△35	△39	△36	△39	△24	△29	△23	△13	△7	△7	△29	△37	△37
	今－前、次－今	△3	3		△2	8		3	△3		△5	6		6	0		△8	0	
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	余裕がある(A)	16	14	7	24	13	8	16	17	6	17	16	7	13	7	14	10	11	6
	支障がない	63	64	76	49	66	79	68	61	77	53	54	66	80	86	79	73	69	83
	苦しい(B)	21	22	17	27	21	13	16	22	17	30	30	27	7	7	7	17	20	11
	DI値(A)－(B)	△5	△8	△10	△3	△8	△5	0	△5	△11	△13	△14	△20	6	0	7	△7	△9	△5
	今－前、次－今	△3	△2		△5	3		△5	△6		△1	△6		△6	7		△2	4	

<参考> 昨年同期と現在の売上比較(回答148社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	47社	32%	36%
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	55社	37%	35%
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	46社	31%	29%
DI値(A)－(B)		1P	7P

